

## 【講演 1】 「手指が生来有する感染症に対するバリア機能に関する研究」

花王株式会社 パーソナルヘルスケア研 眞鍋 憲二 氏

### 【講演要旨】

感染症の伝播において接触感染は重要な感染経路の 1 つです。接触感染は、感染者と直接的に接触、または、汚染された環境表面を介して間接的に未感染者が接触することで成立します。一方、ヒトは菌やウイルスと長く共存してきたため、進化の過程で感染症を防御する多様な免疫機能を獲得してきました。特に手指は、ヒトと外界との重要な接点であるため、菌やウイルスに対抗する力を獲得している可能性が考えられます。私たちは、手指のもつ病原体に対する不活化作用（手指バリア）に着目し、以下の研究を行いました 1,2。

- 1) 手指バリアと感染症罹患性との関係（後ろ向き観察研究）
- 2) 手指バリアに寄与する手指表層成分・手指物性の解析

上記研究結果から得られた知見は、生来の手指のバリア機能を高めるという新しい衛生習慣の提案につながると考えています。今後は、手指の感染症に対するバリア機能をより深く研究し、新しい衛生習慣の提案を通じて、感染とその不安の低減に貢献させていただきたいと思えます。

- 1) Nishioka, Y., Nagano, K., Koga, Y. et al. Lactic acid as a major contributor to hand surface infection barrier and its association with morbidity to infectious disease. *Sci Rep* 11, 18608 (2021).
- 2) Hayashi K, Mori I, Takeda K, Okada Y, Hayase A, Mori T, Nishioka Y, Manabe K. Analysis of hand environment factors contributing to the hand surface infection barrier imparted by lactic acid. *Skin Res Technol.* 2021 Sep 16.

### 【講師プロフィール】

京都大学にて博士前期過程を終了後、2005 年に花王(株)に入社。入社後、経済産業省 NEDO 委託プロジェクトにおいて、ゲノム工学による枯草菌宿主開発に携わり、2013 年に奈良先端科学技術大にて博士号取得。その後、次世代シーケンサーを利用したヒト常在菌叢の研究に従事し、主に皮膚微生物叢の解析・生理的役割の解明を行った。現在は、新しい衛生習慣を提案するべく、手指がもつ生来の感染防御力に着目した研究を進めている。

## 【講演 2】 「化粧品業界におけるサステナビリティ・ルールの潮流」

### ～ EU・中国等の法令動向と企業の対応例 ～

PwC コンサルティング合同会社

橋田 貴子 氏

#### 【講演要旨】

法律をはじめとするルールは日々変化しており、昨今はハードローだけでなくソフトローや規範的なルールもビジネスに多大な影響を及ぼす他、国際・他国地域におけるルールが国内へ波及する等、ビジネスを取り巻くルールは複雑化してきている。そのため、企業はコンプライアンス対応から自社事業の強化や拡大に向けたルールメイキング活動に至るまで、ルールに対するインテリジェンスを高めていくことが求められている。

本講演では特に、化粧品及び化粧品関連業界を取り巻くルール動向や企業の取組み・対応について中心に説明を行う。特に、欧州におけるグリーンディール政策やサーキュラーエコノミーパッケージ等に代表される欧州のルール戦略や政策・規制動向について取り上げると共に、化粧品分野において重要マーケットである中国における関連ルールの動向等についても大きく下記 4 つの観点から提示を行う。

- ① 化学物質に関するルール
- ② 化粧品一般に関するルール
- ③ 包装・プラスチックに関するルール
- ④ (エシカル・サステナビリティ等) 消費に関するルール

またこれらに関連する直近の企業の取組みや対応の方向性等についても紹介する。

これら動向や取組み内容の紹介を通じ、ルールそのものやルールへのリテラシー向上の重要性に対する認識の醸成と共に、コンプライアンスやルールメイキング、業界での合意形成等も事業推進や経営における重要なアジェンダ・打ち手の 1 つとして捉えていただければ幸いである。

#### 【講師プロフィール】

次ページ参照

# 登壇者プロフィール



橋田 貴子 Hashida, Takako  
マネジャー / PwC コンサルティング合同会社 Technology Laboratory X Industry

## 【経歴・知見・資格等】

米国公共政策大学院卒業後、総合系コンサルティングファームを経て現職。  
これまでに、民間企業から官公庁案件まで、幅広くルール調査・分析、ルール形成に関連する案件に従事。  
企業のコンプライアンス対応に向けた国内外の行政法の把握・対応体制の検討支援や、企業による新産業分野市場の形成、海外進出に向けた標準化活動のアドバイザー等の経験を持つ

## 【執筆活動】

- ・ 日経産業新聞「サービス業のJIS活用、防災やもてなしに力」にインタビュー掲載
- ・ 月刊アイソス「COVID-19を踏まえた国際ルール形成の潮流～Before/With/Afterコロナにおけるルールの変化～」(6回連載) 等
- ・ 織研新聞「繊維・ファッション業界の指針となるSDGs 第6回 日本におけるSDGs」へ寄稿
- ・ 「知財管理」誌「ルールを創る—グローバルなイノベーション競争に勝つためのルール形成戦略—」へ共同執筆・寄稿
- ・ 経済産業省「2019年度国際ルール形成と標準・認証研修」登壇



## 【関連実績】(※前編での実績含む)

- ・ 【繊維メーカー】 サステナビリティ推進を目指したオペレーション・コンプライアンス対応検討
- ・ 【電子機器企業】 認証技術を活用したルール形成及び渉外活動施策検討支援
- ・ 【電子機器企業】 新分野デバイスの安全規格策定／標準化支援
- ・ 【電子機器企業】 税制改正に向けた渉外ストーリー検討支援
- ・ 【インフラ関連企業】 ESG等グローバルルール潮流に基づく環境配慮型インフラの海外事業検討支援
- ・ 【物流企業】 ロジスティクスサービスの国際規格策定／標準化支援
- ・ 【自動車会社】 欧州物流関連ルールに関する調査分析
- ・ 【産業機器企業】 米国・中国ルール調査・コンプライアンス対応支援
- ・ 【電力会社】 ASEANにおける発電所運転・保守事業の海外展開支に係るルール調査・戦略策定
- ・ 【経済産業省】 自動走行ロボットの社会実装に向けたルール検討
- ・ 【経済産業省】 PHRサービスの利活用に向けたガイドライン・業界の在り方検討
- ・ 【経済産業省】 海外標準化・ルール形成動向の把握・分析
- ・ 【経済産業省】 JIS法改正 検討委員会 事務局支援
- ・ 【経済産業省】 認証機関ビジネス戦略策定
- ・ 【経済産業省】 海外政府による新規国債標準化提案(ガバナンス規格) 対応支援
- ・ 【経済産業省】 外国企業による国際ルール形成事例調査・定量効果試算